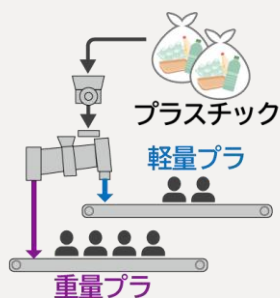


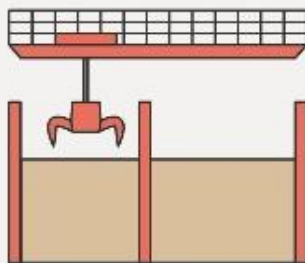
あたらしいリサイクルセンターの特徴

プラスチック専用処理ラインの設置



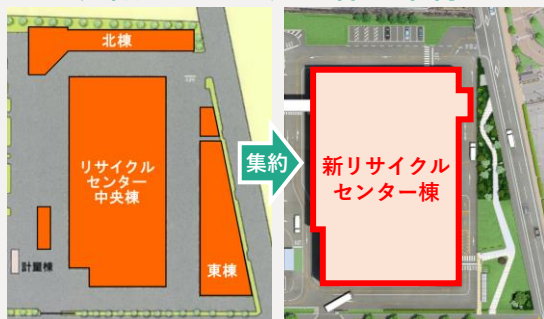
プラスチック専用処理ラインを新設し
リサイクル率の向上を図ります

ごみを貯留するスペースの確保



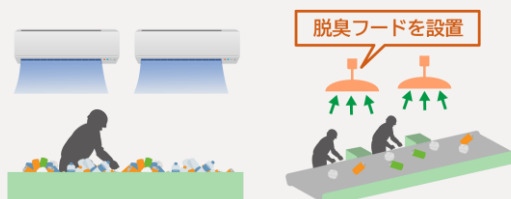
余裕のあるごみピットで
機器が故障しても
一定期間ごみを貯留可能です

分散していた処理棟を集約



各棟への搬送が不要になり
業務効率と安全性が向上します

作業環境の改善



空調の完備

臭気の拡散防止

すべてのごみ処理の屋内化



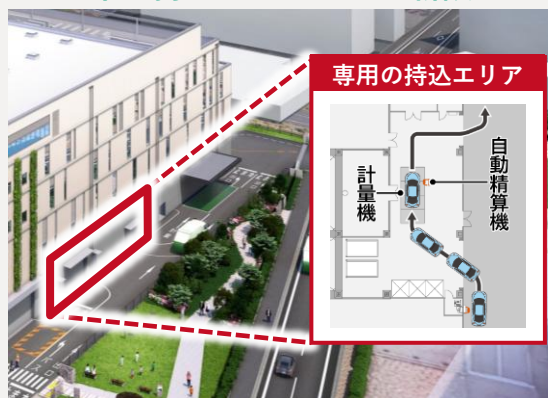
すべてのごみを屋内で処理できる施設とし
周辺環境への影響を最小化します

見学エリアの新設

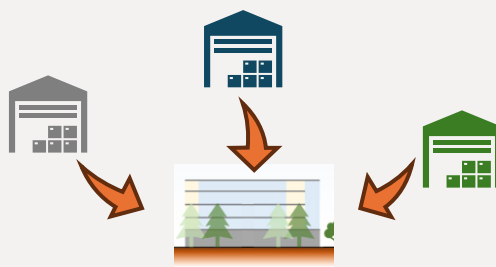


見学エリアの新設によりごみ焼却に加えて
リサイクルも学べます

市民持ち込みエリアの新設



大規模災害時の廃棄物受け入れ



災害廃棄物を一時的に集積できます

3つの建築設計方針

訪れたい調和のとれた
フレンドリーな
リサイクルセンター

周囲に配慮した色彩計画、
市民参加型提案スペース 等

市民の皆様の環境意識を喚起
ECOな
リサイクルセンター

壁面緑化や**ライトシェルフ**、
重力換気の採用 等

生物多様性を感じられる
サステナブルな
リサイクルセンター

多摩産材の使用、ウェルカム
パーク(公園)の整備 等

A

フレンドリーなリサイクルセンター



市民の皆様の意見が反映された屋上のアクティビティ

B

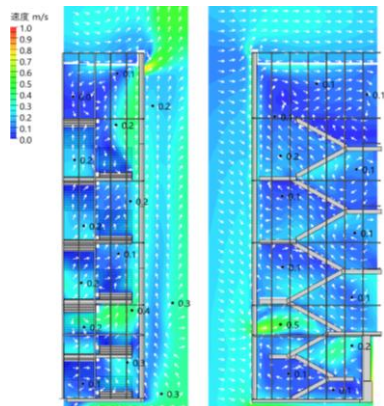
サステナブルなリサイクルセンター



ウェルカムパークによる
エコロジカルネットワークの形成

C

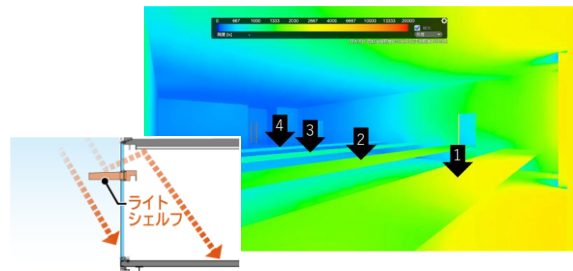
ECOなリサイクルセンター



来場者階段室は重力換気により
中間期の空調負荷を低減

D

ECOなリサイクルセンター



ライトシェルフにより自然光を積極利用

